

気象学，雪氷学等に関する研究発表

<2011 年度>

1 . 学会誌等

Y.-M. Kodama, T. Sagawa, S. Ishida, and T. Yoshikane: Roles of the Brazilian Plateau in the formation of the SACZ. *J. Climate*, **25**, 1754-1758, 2011.

Ito, D., S. Ishida, and D. Matsushima: Evaluation and estimation of canopy heat storage fluxes in an apple orchard. *J. Agric. Meteorol.*, **67(1)**, 33-42, 2011.

2 . 研究報告書等

石田祐宣：太陽エネルギー利用の融雪技術. 東北の雪と生活 -雪氷研究の回顧と展望-, 日本雪氷学会東北支部設立 25 周年記念誌, 143-148, 2011.

3 . 学会・シンポジウム発表等

佐藤 和敏・猪上 淳・堀 正岳・児玉 安正：近年の北極海における雲鉛直構造の変化. 日本気象学会2011年度春季大会. 2011年5月18-21日（東京都渋谷区）.

Y.-M. Kodama: Roles of the Brazilian Plateau in the formation of the SACZ. IUGG2011, 2011 年 6 月 28 日-7 月 7 日（オーストラリア，メルボルン）.

Y.-M. Kodama, K. Nomura, 2011: Relationship between Rainfall intensity and pressure fall rate of the tropical cyclones examined using GSMaP precipitation data. IUGG2011, 2011 年 6 月 28 日-7 月 7 日（オーストラリア，メルボルン）.

児玉安正・橋口浩之・古本淳一・矢吹正教・津田敏隆：2011 年六ヶ所村ヤマセキャンペーン観測の概要報告. 第 4 回ヤマセ研究会, 2011 年 9 月 20-21 日（弘前市）.

児玉安正・黒瀧あゆみ・佐々木美紀・佐藤希・横須賀美香・橋口浩之・古本淳一・矢吹正教・津田敏隆：2011 年六ヶ所村ヤマセキャンペーン観測の報告. 大槌シンポジウム”北日本を中心とした降水・降雪特性に関わる海洋大気陸面過程”，2011 年 11 月 12-13 日（岩手県大槌町）.

久野木梓織・佐藤和敏・黒瀧あゆみ・関真理子・児玉安正・小松謙介・緒方香都・西川はつみ・大鹿美希・大富裕理子・立花義裕・茂木耕作・川合義美・三井拓・万田敦昌：黒潮が影響する梅雨前線. 大槌シンポジウム”北日本を中心とした降水・降雪特性に関わる海洋大気陸面過程”，2011 年 11 月 12-13 日（岩手県大槌町）.

野村佳祐・児玉安正：台風発達期における降水強度と風速の関係—衛星観測データを用いた研究. 大槌シンポジウム”北日本を中心とした降水・降雪特性に関わる海洋大気陸面過程”，2011 年 11 月 12-13 日（岩手県大槌町）.

久野木梓織・佐藤和敏・黒瀧あゆみ・関真理子・児玉安正・小松謙介・緒方香都・西川は

つみ・大鹿美希・大富裕理子・立花義裕・茂木耕作・川合義美・三井拓・万田敦昌，黒潮が梅雨前線に及ぼす影響．日本気象学会 2011 年度秋季大会，2011 年 11 月 16-18 日（名古屋市）．

佐藤和敏・久野木梓織・黒瀧あゆみ・関真理子・児玉安正・小松謙介・緒方香都・西川はつみ・大鹿美希・大富裕理子・立花義裕・茂木耕作・川合義美・三井拓・万田敦昌：黒潮が梅雨前線に及ぼす影響－2011 年 5 月の観測事例－．2011 年度九州沖縄地区合同シンポジウム“東アジア域での大気海洋相互作用と越境汚染研究の現状”，2011 年 12 月 7 日（長崎市）．

久野木梓織・佐藤和敏・黒瀧あゆみ・関真理子・児玉安正・小松謙介・緒方香都・西川はつみ・大鹿美希・大富裕理子・立花義裕・茂木耕作・川合義美・三井拓・万田敦昌：梅雨前線の北，長崎沖に発生したレインバンド－2011 年 6 月 20 日の観測事例－．2011 年度九州沖縄地区合同シンポジウム“東アジア域での大気海洋相互作用と越境汚染研究の現状”，“東アジア域での大気海洋相互作用と越境汚染研究の現状”，2011 年 12 月 7 日（長崎市）．

吉岡七緒・アリマディアワラ・緒方香都・西川はつみ・大鹿美希・安藤雄太・立花義裕・茂木耕作・川合義美・佐藤和敏・久野木梓織・黒瀧あゆみ・関真理子・児玉安正・山田恭平・三井拓・万田敦昌：2011 年東シナ海上における台風 5 号中心近傍でのラジオゾンデ高頻度観測．2011 年度九州沖縄地区合同シンポジウム“東アジア域での大気海洋相互作用と越境汚染研究の現状”，2011 年 12 月 7 日（長崎市）．

野村佳祐・児玉安正：台風発達期における降水強度と風速の関係－衛星観測データを用いた研究．日本気象学会東北支部研究会，2011 年 12 月 16 日（仙台市）．

児玉安正：ヤマセ海域の SST 分布の将来予測－CMIP3 と CMIP5 の比較－．第 5 回ヤマセ研究会 2012 年 3 月 5-6 日（仙台市）

佐々木実紀・児玉安正：ヤマセ海域の SST 変動と海洋内部構造の関係－2011 年の事例解析－．第 5 回ヤマセ研究会 2012 年 3 月 5-6 日（仙台市）．

佐藤和敏・黒瀧あゆみ・関真理子・児玉安正・小松謙介・緒方香都・西川はつみ・大鹿美希・大富裕理子・立花義裕・茂木耕作・川合義美・三井拓・万田敦昌：黒潮が梅雨前線に及ぼす影響－5 月の観測事例－，「気候系の hot spot：熱帯と寒帯が近接するモンスーンアジアの大気海洋結合変動」2011 年第 2 回全体会議．2012 年 3 月 14-16 日（東京都目黒区）．

久野木梓織・佐藤和敏・黒瀧あゆみ・関真理子・児玉安正・小松謙介・緒方香都・西川はつみ・大鹿美希・大富裕理子・立花義裕・茂木耕作・川合義美・三井拓・万田敦昌：梅雨前線北の長崎沖に発生したレインバンド－2011 年 6 月 20 日の観測事例－．「気候系の hot spot：熱帯と寒帯が近接するモンスーンアジアの大気海洋結合変動」2011 年第 2 回全体会議，2012 年 3 月 14-16 日（東京都目黒区）．

庄司優・石田祐宣・伊藤大雄・石田清・M.L. Lopez C.・高橋啓太・戎信宏・高瀬恵次・中北

英一・田中賢治・山口弘誠：白神山地ブナ林の二酸化炭素収支と気候の関係. 日本農業気象学会 2012 年全国大会, 2012 年 3 月 13-16 日 (堺市) .

石田祐宣・庄司優・高橋啓太・徳永真央・石田清・M.L. Lopez C.・高瀬恵次・戎信宏・中北英一・田中賢治・山口弘誠：森林流域における大気・水・炭素循環の観測・解析, 比較に関する 基礎的研究 -白神山地ブナ林の水・炭素循環-. 京都大学生存基盤科学研究ユニット研究成果報告会, 2012 年 2 月 28-29 日 (宇治市) .

戎信宏・高瀬恵次・石田祐宣・中北英一・田中賢治・山口弘誠：森林流域における大気・水・炭素循環の観測・解析, 比較に関する 基礎的研究 -琵琶湖サイトにおける気象および水文観測結果-. 京都大学生存基盤科学研究ユニット研究成果報告会, 2012 年 2 月 28-29 日 (宇治市) .

高橋啓太・石田祐宣・石田清・鳥丸猛・伊藤大雄・庄司優・蓮沼洋志・M.L. Lopez C.・野堀嘉裕・戎信宏・高瀬恵次・中北英一・田中賢治・山口弘誠：白神山地ブナ林の年輪変動. 「樹木年輪」研究会シンポジウム, 2011 年 12 月 2-4 日 (鶴岡市) .

伊藤大雄・石田祐宣：一般気象観測データによる果樹園の日別融雪潜熱量の推定(続報). 平成 23 年度日本農業気象学会東北支部大会, 2011 年 11 月 7-8 日 (山形市) .

石田祐宣：気候変動が白神山地のブナ林に与える影響 -白神自然環境研究所 気象・地象部門-. 第 4 回弘前大学国際シンポジウム, 2011 年 10 月 25 日 (弘前市) .

伊藤大雄・石田祐宣：一般気象観測データによる果樹園の日別融雪潜熱量の推定. 園芸学会東北支部平成 23 年度大会, 2011 年 9 月 10-11 日 (秋田市) .

4 . 研究会等の主催

児玉安正：第 11 回青森県気象災害連絡会. 2011 年 6 月 24 日 (弘前市) .

児玉安正・岩崎俊樹：第 4 回ヤマセ研究会：2011 年 9 月 20-21 日 (弘前市) .

児玉安正：第 12 回青森県気象災害連絡会. 2012 年 1 月 18 日 (青森市) .

5 . 修士論文・卒業論文

(2012 年 2 月)

庄司優：白神山地ブナ林の二酸化炭素収支と気候の関係 (修士論文)

高橋啓太：白神山地ブナ林の年輪変動と炭素固定量 (修士論文)

野村佳祐：台風発達期における降水強度と風速の関係 -衛星観測データを用いた研究- (修士論文)

久野木梓織：梅雨前線の北, 長崎沖で発生したレインバンドの正体 -2011 年 6 月 20 日の観測事例-

栗山奨平：顕熱・潜熱フラックスからみた非一様な植生上における対流構造

黒瀧あゆみ：熱帯インド洋 SCTR 領域における SST の日変化—MR11-07 観測航海による現場観測データから—

近藤優樹：南岸低気圧がもたらした東京周辺の降雪事例の検討

佐々木実紀：ヤマセ海域の SST 変動と海洋内部構造の関係 —2011 年の事例解析—

佐藤希：ラジオゾンデで観測されたヤマセの特徴とその成因 —2011 年 7 月 29 日-31 日の事例—

関真理子：2011 年 10 月～11 月にインド洋でみられた MJO の特徴

高橋未来：青森市におけるヒートアイランド強度と風の分布との関係

徳永真央：白神山地ブナ林における蒸発散量の定量評価

横須賀美香：ドップラーソーダーで観測されたヤマセ時の風向・風速の日変化-2011 年 7 月 30 日～8 月 2 日の観測事例

6．競争的研究資金

児玉安正：科学研究費補助金（基盤研究 C: 2009-2011 年度）「世界の亜熱帯収束帯の特性と形成のメカニズム」．研究代表者：児玉安正（弘前大学），1,000 千円（直接経費，2011 年度分担額）

児玉安正：科学研究費補助金（新学術領域研究: 2010 年度-）「縁辺海が大気の擾乱・雲形成・大規模循環に果たす役割」．研究代表者：立花義裕（三重大学），1,650 千円（直接経費，2011 年度分担額）

児玉安正：文部科学省気候変動適応研究推進プログラム（2010 年度-）「東北地域のヤマセと冬季モンスーンの先進的ダウンスケール研究」．代表者：岩崎俊樹（東北大学），1,925 千円（2011 年度分担額）

石田祐宣：科学研究費補助金（基盤研究 B: 2010 年度-）「長期的な温暖化操作が日本の森林土壌の炭素・窒素動態に及ぼす影響」．研究代表者：高木健太郎（北海道大学），600 千円（直接経費，2011 年度分担額）

石田祐宣：科学研究費補助金（基盤研究 B: 2011 年度-）「個体群・個体・個葉光合成の同時測定によるリンゴ樹の気象反応と物質生産機能の解明」．研究代表者：伊藤大雄（弘前大学），3,950 千円（直接経費，2011 年度分担額）

7．取材協力

児玉安正：「あっぷるワイド やませ メカニズムの解明へ レーダー運用開始」NHK 青森．2012 年 3 月 29 日

児玉安正：「ヤマセのレーダー観測」東奥日報，デイリー東北，河北新報，陸奥新報．2012 年 3 月 30 日